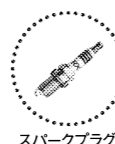




技術は、 誰のために生まれるの？

たとえば、クルマを動かす力になるプラグ。
それは、運転する人のためのもの。
でも大きな視野で見つめれば、
それは地球の、未来の一部になる。
だから日本特殊陶業は、子どもたちのこと、
世界で暮らす人々のことも想いながら技術を育んでいます。
環境を考えて進化するプラグやセンサ。
未来を支える製品開発。
一つひとつに、大切な想いを込めて。挑戦は続きます。



スパークプラグ



グロープラグ



ジルコニア酸素センサ

〒467-8525 名古屋市中区高辻町14-18 TEL (052) 872-5933

自動車技術展
人とくるまのテクノロジー展
2014 名古屋
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION NAGOYAブースNo.
28<出展テーマ>
クルマ社会に貢献する、
先進のテクノロジーNGK|NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業
http://www.ngkntk.co.jp

テスト評価
ソフトウェア開発
計測適合診断
制御機能開発
Answer
答えはETASにある
自動車開発の現場から“MADE IN JAPAN”を支えるパートナー、それがイータスです

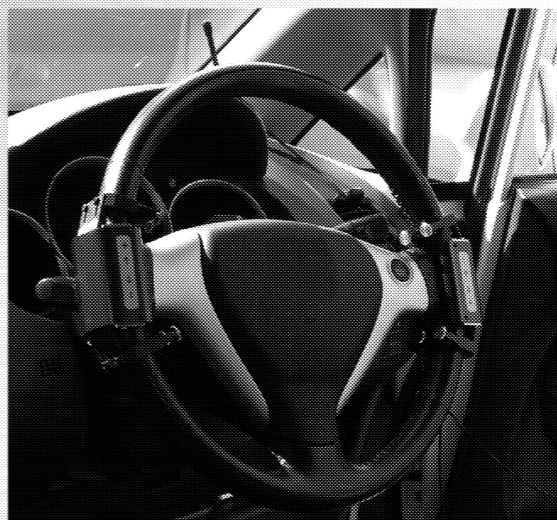
自動車技術展
人とくるまのテクノロジー展
2014
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION会期：12月11日(木)～12日(金)
会場：ポートメッセなごや
(名古屋国際展示場)
小間番号：122

イータス株式会社

〒220-6217
横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC 17F
TEL：045-222-0900 FAX：045-222-0956
E-mail：sales.jp@etas.com
http://www.etas.com

ETAS

オンリーワンの技術で 人とくるまの未来に貢献

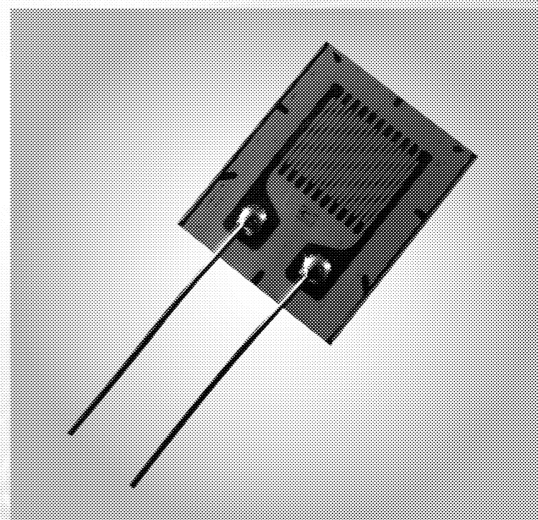
自動車技術展
人とくるまのテクノロジー展
2014 名古屋
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION NAGOYAブースNo.
131

グリップ式操舵力計

LSG-A,B

既存ハンドルに直接取り付け
右手左手の操作力を別々に検出できる操舵力計

- LKASの構築に貢献
- 軽量のため慣性モーメントへの影響が僅少
- エアバッグの展開を妨げない



水素ガス環境用箔ひずみゲージ

KFV-2-350-C1

高圧水素ガス環境下で
安定したひずみ測定ができる箔ひずみゲージ

- 燃料電池自動車等の研究・開発向け
- 水素による電気抵抗変化が僅少
- 耐水素ガス圧：90MPa以下

確かな計測で、その先の未来へ

KYOWA

株式会社共和電業

計測と制御を通じて、“安全と安心”の提供で社会に貢献する“技術創造企業”

www.kyowa-ei.com

〒182-8520 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1



自動車技術展

人とくるまのテクノロジー展2014 名古屋
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION NAGOYA

あす開幕！

「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2014名古屋」が明日から12日までの2日間、名古屋市港区の名古屋国際展示場（ポートメッセなごや）で開催される。「人とくるまのテクノロジー展」は、自動車技術会の主催で1992年から毎年横浜市で開かれている展示会だが、名古屋では初開催となる。完成車、部品、材料、テストング、CAEソリューション、カーエレクトロニクスなど国内外の自動車関連の製品や技術、サービスが一堂に会す。入場料は無料。開催時間は、11日が10時から20時、12日が10時から17時まで。

モノづくり技術の 集積地で初開催

今回の展示会は自動車産業の一大集積地である中部エリアでの開催となるため、大きな盛り上がりが見込まれる。展示規模は197社・団体、416小間。中部地区は、もちろん、関西地区からも来場しやすく、来場者は2万人規模を予想する。名古屋開催は「モノづくりの重要性」と面白いうスローガンを掲げた。技術力の高いモノづくり企業が多く集まる同エリアらしい標語だ。日本の自動車技術向上に大きく貢献している主催者、自動車技術会（JSAE、加藤光久会長）が企画する特別企画展示コーナーは、毎年5月の横浜開催で常時、高い関心が寄せられている。今回の名古屋開催は「モノづくりの技術を支えるモノづくり技術」というテーマで行われる。「高精度」「薄い」「低摩擦」「小さい」「曲げる」「強い」「硬い」

セミナーやフォーラムは 最新技術・情報が満載

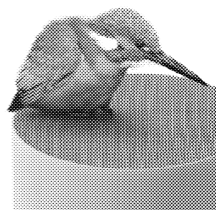
「人とくるまのテクノロジー展」ではセミナー、ワークショップ、フォーラムの企画が毎回、話題になる。今回の名古屋開催が初企画となるオンラインセミナー「新たな



自動車関連製品・技術・サービスが一堂に会す

省、経済産業省、総務省、以前から開催を望む声が多かった「人とくるまのテクノロジー展」名古屋開催は、自動車関連企業技術者交流の場として成功し、自動車技術のさらなる発展につなげる

空気より、もっときれいな空気を。
その想いから生まれた触媒です。

触媒で地球とクルマをつなぐ
CATALER
http://www.cataler.co.jp

株式会社 キャタラー

| 本社・工場 | 〒437-1492 静岡県掛川市千浜7800番地
| 東京営業所 | 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2丁目12番2号第2早川ビル

試乗用の小型モビリティ（5月の横浜開催時）

NACHI

株式会社 不二越

www.nachi-fujikoshi.co.jp

くるまとともに走る
NACHIの技術

MT鋼/MS鋼軸受(長寿命鋼軸受)
低トルク円すいころ軸受
ELT (Extra Low Torque) 軸受
4点接触玉軸受
カーエアコン用複列アンギュラ玉軸受

ベアリング

高強度・高剛性 コンロッド材
耐熱合金 排気バルブ/ウェイトゲートバルブ材
水素ステーション用パイプ材

マテリアル

自動変速機用比例減圧弁
自動変速機用3方ON/OFF弁

カーハイドロリクス

Creating the next value.
Vol.02

その当たりまえをつくったのは、
わたしたちです。

ナンバーワン＆オンリーワン。
ジェイテクトのEPS。

楽々とハンドルを回し、スムーズにクルマを駐車する女性。
いまでは珍しくないこの光景も、ほんの25年前には、ほとんど見られなかった。
1988年、ジェイテクトが、世界で初めてEPS(電動パワーステアリングシステム)を開発する。
エンジン出力を利用せず、電動モーターによってハンドル操作をアシストし小型化を実現。
EPSは、パワステを装着できなかった軽自動車から急速に普及していく。
それは、オートマチック車と同じような、
誰もがもっと容易にクルマを運転できる画期的な発明だった。
いまやパワステは、どんなクルマにとっても当たりまえの装備となる。
誰もがもっと当たりまえにクルマを運転できるこの世界を、ジェイテクトは、つくった。

現在、全世界のEPS装着車の3台に1台がジェイテクト製を採用。
世界No.1シェアを獲得している。
だからジェイテクトは、誰よりも知っている。
この世界を変えられるのは、いつだってナンバーワンであり、オンリーワンだということを。
だからジェイテクトは、きょうもつくりつづける。より良い未来に向かって。

No.1 & Only One
JTEKT
自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。